

第13号

2016年(平成28年)1月20日(水)

広報委員長 内山英行
広報委員 安財貴久男
塩尻利一 橋本和子
吉田健二 渡辺 昇



発行: 小布施まちづくり委員会
会長: 内山英行
事務局: 小布施町役場
企画政策課 定住交流係
Tel: 026-214-9102
編集: 小布施まちづくり委員会
広報委員会
2008年(平成20年)12月18日創刊
2016年(平成28年)1月20日第13号
©小布施まちづくり委員会

第4回おぶせ未来共育会議を、昨年の12月12日(土)に千年樹の里健康福祉センターで開催しました。今回はテレビ等でも幅広く活躍し、長野県教育委員も務めたことのある慶應義塾大学政策・メディア研究科教授の金子郁容さん(写真)に、コミュニティスクールと地域コミュニティについてご講演をいただきました。金子先生は、新しいタイプの公立学校である「コミュニティ・スクール」を2000年に提案し、2005年の法制化に尽力された方です。

コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、汗をかき、学校運営に意見を反映させることで一緒に働いていくという考え方です。地域とともにある学校づくりを進める仕組みです。小布施町では、来年度の「小布施学園コミュニティスクール」の設置に向けて検討準備委員会を組織して準備を進めています。

時期、児童減少で廃校の危機もあったのですが、その後、児童数も増えている。地域の人が移住者たちを家族のように受け入れる地域性がその原因のようです。また、大人たちは子供を見守るとともに、良いことや海や川で危ないことをしたらその場で厳しく叱り、子供たちもそれをしっかりと受け入れます。この地域性の上に伊座利小学校のコミュニティスクールが存在しており、転入児童の受け入れに地域の代表の方が保護者と懇談すること、「この学校で働きたい」という徳島県



※「ソーシャルキャピタル」：コミュニティのメンバーによる社会的活動が盛んで、メンバー間で相互信頼が成り立っているコミュニティにおいて、人々の関係がスムーズで自発的な協力が発生しやすい。公園はきれいに保たれ、治安が良く、読書やスポーツや環境保全などの市民活動が盛んなような活動がうまくいく可能性が高くなる。このようなコミュニティを成立させる「関係性の共同資産」を意味する。

「日本一いい学校・幼稚園・保育園とは」

「日本一素敵な町をつくる」

共育を考える部会 副部長 元田 和行

の先生が多く赴任してくることに驚きました。また、東京都内のある小学校のコミュニティスクールの先生が地域のボランティアの「先生」に授業のアシスタントをお願いします。映像ではボランティアの方3名が学習を支援している様子から「わかりやすい」という声がありました。後半では、コミュニティスクールを成立させるための重要な要件と

『餅つきとミニ門松づくり』で子供達と世代間交流

交流を考える部会 部会長 坂原 広重



今回は六斎ホールに会場を変更し、昨年同様藤岡牧夫美術館と共催の楽しい一日でした。前日に洗浄・浸し・水切りしたもち米を、かまどに薪をくべて釜を沸かし、蒸籠で蒸したもち米を臼に移し、杵でつぶし、更に杵で搗いて粘りの強い餅が搗きあがりまし

こんな光景は、昔はこの家庭でも正月準備の風物詩でしたが、今ではなかなか見られませんが、参加の子供達は、煙と格闘しながらかまどの火の番をしたり、じっと蒸しあがるのを見つめて待っていたり。「さあ、蒸しあがった」の声で餅つき開始。程よく搗きあがると、子供用の杵でも粘りに力負け、協賛参加いただいた新規就農の若者の手助けで難なく搗き上がりました。



『世代間交流』がありました。部会では、2月21日(日)、千年樹の里健康福祉センターで中国餃子を主にした『多文化交流』も計画しています。来て、見て、作って、食べて、皆で楽しい交流をしましょう。

編集後記

矢継ぎ早に開催される「広報委員会」を経て、ボイス13号が発行されました。装いも新たなボイスに“乞うご期待”。(内山)

10月に続く今年度第2号になります。今回は広報委員会で文章・画像・レイアウトすべて計画通りの作業ができました。(吉田)

昨年からビデオ・画像を求めてイベント取材活動を行っています。今年も活気ある活動の取材を行います。よろしく。(塩尻)

本年は申年。「見ざる・聞かざる・言わざる」から、「見よう・聞こう・言おう」の年にしましょう。(安財)

お知らせ

既にご案内のとおり、「町議会議員とのまちづくり委員との意見交換会」が2月10日(金)午後6時半から公民館講堂(役場3階)にて開催されます。この場をまちづくり委員会「全体会」と位置づけて開催したく、その後の懇親会と併せ、大勢の委員の皆様のご出席をお願いします。

あなたも「まちづくり委員会」に参加しませんか!

様々な立場の人が自由に意見を交わし、住みよいまちづくりを考え実践する場として平成20年にスタートしました。「安全」「環境」「福祉」「交流」「共育」「定住促進」の6つのテーマごとに部会を設け、月に1回くらいのペースで集まって活動しています。

そんなまちづくり委員会にあなたも参加してみませんか。参加をご希望の方は、下記事務局へお申し込みください。

小布施まちづくり委員会事務局
Tel: 026-214-9102 Fax: 026-247-3113
E-mail: kouryuu@town.obuse.nagano.jp